

2013-B					
拠出金・基金の名称		関税協力理事会拠出金			
種別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】: 関税協力理事会 (CCC) (通称: 世界税関機構 (WCO))					
【所管官庁担当局課・室名】: 財務省関税局第二参事官室 (国際協力担当)					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 技術協力プロジェクトの実施、人材育成 (実務研修及び留学生) の実施、派遣職員経費					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率 (%)
平成25年度	370,416	-	-	円建て	100
平成24年度	380,414	-	-	円建て	100
平成23年度	393,211	-	-	円建て	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】					
<p>世界税関機構 (WCO) は、各国の税関制度の調和・統一及び国際協力の推進により、国際貿易の発展に貢献することを目的とし、国際標準の策定、情報交換及び不正薬物や知的財産侵害物品等の監視・取締りのための税関間協力、国際標準実施に向けた支援等を行っており、その活動は高く評価できる。</p> <p>WCOでは、調査・研究部門の設置及び世界貿易機関や世界銀行などの国際機関との連携を行い、機能強化が図られている。また、出版・印刷等の業務の外注を進めるほか、情報通信技術を積極的に採り入れ、加盟国への情報提供の迅速化・ペーパーレス化を推進する等、業務効率化に努めている。</p> <p>我が国は、WCOへの拠出金を通じて開発途上国に対する関税技術協力を支援してきており、当該拠出金や人的貢献を通じて開発途上国税関当局における能力・技術力が向上することにより、不正薬物や知的財産侵害物品等の取締強化が図られるほか、WCOにおける我が国の影響力が強化される。また、開発途上国において、我が国制度の普及が図られ、企業の貿易活動の促進にも資することから、今後も実施していくことが望ましい。</p>					